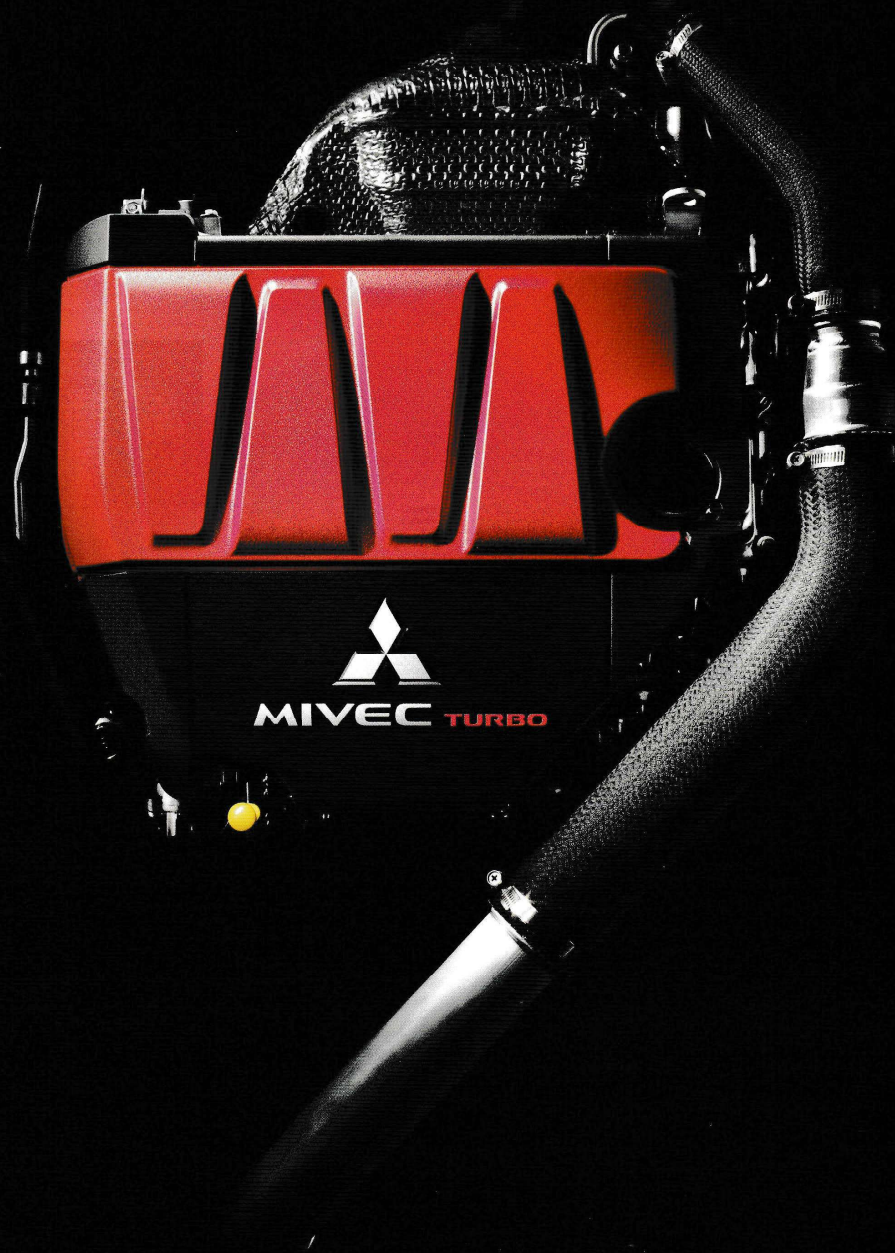




4G63から4B11へ。頂点をめざすDNAは、新しい世代へと受け継がれた。

型式4G63。初代ランサーエボリューションに搭載されて以来、じつに9代15年にわたってその走りを力強く推進しつづけながら、WRCを始めさまざまなレースで輝かしい戦歴を重ねてきたエンジンである。つねに、その先のポテンシャルを追い求めてきた開発の過程は、ランサーエボリューションの進化そのものでもあった。そしていま、ランサーエボリューションXの登場とともに、その役割を終え、究極のDNAは新開発の4B11エンジンへと受け継がれることになった。モータースポーツにおける戦闘力も視野に入れ開発。長年培ってきたレーシングテクノロジーを随所に反映させている。出力特性はこれまで同様、単なるピークパワーを追い求めるのではなく、低中回転の実用領域での高トルク特性とすぐれた過給レスポンスを重視。“使いやすくて速い”と定評だった出力特性を踏襲しながら、MIVEC(連続可変バルブタイミング)を吸気と排気に採用するなど、新機構の採用でさらに進化させた。併せてアルミダイキャスト製シリンダーブロックやカムダイレクトドライブ、後方排気レイアウトの採用などにより、軽量・小型化と低重心化を徹底。重量物であるエンジンや駆動系を、より理想的な位置に搭載することが可能となり、すぐれた運動性能の実現に大きく貢献している。新型4B11 MIVECは、新たな走りを目指して、いま力強い産声をあげた。